

学校教育目標	市沢に生き、ともに輝く子をめざします				
	知	自ら問題を発見し、解決する子を育てます。			
徳	友達を大切にすることを育てます。				
体	心も体もたくましい子を育てます。				
公開	市沢・横浜に働きかける子を育てます。				
公開	世界の人々を愛する子を育てます。				
学校概要	創立 150 周年	学校長 江野澤 勝	副校長 森 飛鳥	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 5
	児童生徒数:	368 人	主な関係校:	西谷中学校 左近山中学校 鶴ヶ峯小学校 川島小学校 左近山小学校	

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○課題解決に向かって自分の考えをもつ能力 ○共に学ぶことを通して、自他のよさを認め合える心	西谷中学校 市沢小学校 鶴ヶ峯小学校 川島小学校	○自分も他の人も大切にし、人や社会とつながる子ども。 ○自分の考えを表現し、ともに学び合える子ども。 ○公開授業研究会を開催することにより、小中の学習のつながりや、効果的な学習方法を研鑽する。○児童生徒指導上の情報交換を密に取り、9年間の生活習慣や規範意識の育成に努める。○道徳の授業研究を通して、自他のよさを認め合える子を育成するとともに、地域と関わりながら共同的な学びのできる児童の育成を図る。

中期取組目標	○子ども一人ひとりを大切にし、活力と魅力にあふれた学校づくりをめざします。 ・個の学習状況を把握し、子どもが表現することを大切にしながら、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを推進します。 ・自他のよさに気づきお互いによさを認め合い、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育み、日常に生かせるようにします。 ・健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。 ・一人ひとりが互いのよさを認め合い、自己有用感のある楽しい学校生活を過ごせるようにします。 ・まちの「人」とのつながりや中学校との連携を意識し、豊かな体験を通して、地域全体で、まちを愛し生きる力のあふれる子どもを育てます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力 担当 学びプロジェクト	①学ぶ楽しさに繋がる、主体的・対話的な学習を模索する。②一人ひとりの教育ニーズや学習状況に応じた課題の設定になるよう、市沢独自の時間での指導や支援を具体化していく。③ICT活用を通して、自分の考えを表現し、共に課題を解決し、さらに互いのよさを認め合えるようにする。
徳 豊かな心 担当 心と体・道徳部	①自分の行動について、メタ認知力を育むため、毎月の生活目標を振り返り、自律的に行動できているか考える活動を行う。②特別の教科「道徳」で考えた価値を日々実践できているか考える習慣を育む。③特別活動・児童会と連携して、人とつながることを大切にしたいあいつ活動の充実を図る。
体 健やかな体 担当 体育部・保健部	①望ましい生活習慣の定着を図る。学校保健委員会や保健教育を通し、自らの健康意識を高める。②日々の体育学習やスポーツ広場の充実を図れるよう、令和4年度に行った運動をロイロノートなどを活用して全校に周知したり、運動する場面を増やしたりする。
公開 自分づくり教育 (キャリア教育) 担当 心と体・生活総合部	①体験を通して自ら課題を見つけ、他者と協働しながら自分なりの解決方法を選んだり決めたりしながら課題解決していく活動の充実を図る。②活動を通した振り返りの機会を定期的に設け、児童自身が自己の成長を感じることができる機会の保証と、振り返りを生かした活動展開の充実を図る。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①「いじめ防止対策委員会」を定期的に開催し、いじめ基本方針をもとにして未然防止、迅速な対応を行う。②生活に関するアンケートと実態調査、職員の見取り等複合的にいじめ行為の発見に努める。この一連の調査の結果に合わせ、児童と直接話す機会も設ける。③横浜子ども会議に取り組む。
組織運営 人材育成 担当 教務・メンター	①ブロックリーダーを中心に企画での検討を全体化したり、全体の意見を吸い上げたり円滑な組織運営を図る。②メンター育成部として、メンターからの要請に応じ、必要な助言を行い、協働しながらそれぞれのキャリアステージに応じた課題解決に取り組む。③メンターの課題に対して、メンター育成部からの助言を積極的に求め、協力しながら課題解決に向かう。
特別支援教育 担当 心と体プロジェクト	①個別の指導計画のもとに、個別に指導が必要な児童の把握に努める。②特別支援教室の体制について人的保障が可能なかどうかの視点から検討する。③日々の学習指導についてのあり方について情報交換を行うことを通し、職員の研鑽に努める。④個別支援級入級を視野に入れた児には交流活動を提案、充実させ、円滑な入級に努める。
児童指導 担当 心と体プロジェクト	①児童が自律的に行動できることを目指し、今月のめあてや自分づくりパスポートなどのふりかえりを定期的に行うことができるようにする。②ICTを活用し、ふりかえる機会を効率的に設けられるようにする。③教職員が自らをふりかえることができるような連絡・協議する場を設ける。④昨年度設けた登校支援が要する児童への対策を運営する。
働き方改革 担当 働き方改革プロジェクト	①校内・校外に向けた文書のペーパーレス化を進める。②ICTを活用した情報発信と情報収集の仕方を模索し、効果的な方法を試みる。③めざす子どもの姿に向けた会議の在り方を問い直し、必要な協議事項は何か、新たな検討事項は何か、目標達成に迫る会議の時間を考え、変革していく。
地域連携 担当 教務部	①学校運営協議会の運営を通して、今後の活用の仕方や連携の仕方を模索する。 ②150周年の取組を通じて、学校への愛着の心を育む。 ③地域と連携した防災への取組を継続して行い、地域防災への意識を高めていく。